

職員による自己評価

A環境面

道路に面しているので、必然的に危険は感じる。
見通しよくする為の様様替えを行った。

B児童への支援内容

子供からの意見が多いので、それに対する対応の難しさは感じた。掃除等みんなで分担して行えるのが素晴らしい。

C関係機関との連携

コロナの影響もあり、なかなか関われる事もないが、共同でフリーマーケットを行ったり、毎年恒例の地域行事の参加を行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

毎日の連絡帳にて基本的な事はお伝えしている。必要な場合に応じて、電話での対応を行っている。

E非常対応

地震や火災など色々な想定であるといい。

保護者による評価

A環境面

コロナの影響もあり、所内の様子など不明な点が、気になる保護者様もいらした。

B児童への支援内容

ほとんど満足されている方が多く、活動の種類に関してと関係機関との関わりの少なさには、少ない現状を感じられている。

C事業所からの情報発信

SNSでの発信はあるが、会報等の発信は少なく、コロナ過ではあるが、見学をしてみたい意見もよせられている。

D非常対応

現状理解を得られている。

事業所内での分析

【共通点】

日々の活動に関して、少し工夫が必要と感じる部分がある。

【相違点】

保護者に対して発信が少ないのもあり、伝わっていない部分が多くあるなという実感。
現状満足いただけている部分も多く感じる。
非常対応について、数を増やし、色々な想定で行えたらと感じている。

分析・検討してみて…

事業所の強み

支援や信頼関係については、評価をいただいている。
子供が楽しみに通ってくれていることが、支援する上でもつなげられていると感じる。
近場での店舗展開もあり、色々なお友達との関わりができ、それを楽しみに来られる子どもも多く、長く通ってくださっている方が多いので、生活の一部として、居場所として、感じてもらえている。

事業所の改善点

保護者に伝わらない部分も多く、発信の機会が増えるといいと感じる。
活動の種類や既存の活動の良い改善をしていく事も視野に入れていく。

事業所の改善への取り組み

現状の基本活動に改善案や追加される項目の模索。
基本活動に加えその他児童の飽きや状態に応じたマンネリを防ぐ活動の発案。
発信の手段や事業所で、当たり前になっている事の発信の少なさの改善。
以前と比べてコロナの影響も少なくなってきたので、少しずつ緩和に向けた活動も視野に入れていければと感じる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

ここでのイベントの実際のその場の雰囲気や熱量がなかなか保護者に届かない事も多くあると実感した。
年度がわりで、日々の活動などで改善を行っていく事を考えるいい機会になっている。
卒業の子どもも多くいた中で、保護者様からの意見を聞けるのが今後のより良い改善の機会にもなっている。